株式会社4℃ホールディングス
（東証一部 8008）

第65期（2015年2月期）第2四半期決算説明会

2014年10月6日

4℃ holdings group

Contents

4℃ holdings group

Ⅰ. 2015年2月期第2四半期決算概要と総括

Ⅱ. 2015年2月期下期重点取り組み課題と施策

Ⅲ. 第３次中期経営計画の進捗

㈱4℃ホールディングス　代表取締役社長　鈴木秀典

※資料内の数値は百万円未満を切り捨て表示し、百分率は原データから算出しております。

当資料の業績予想に関する記述、及び客観的事実以外の記述に関しましては、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようにお願いいたします。実際の業績は、当社の事業をとりまく経済情勢、市場の動向、為替レートなどに関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご了承ください。

連結業績の概要

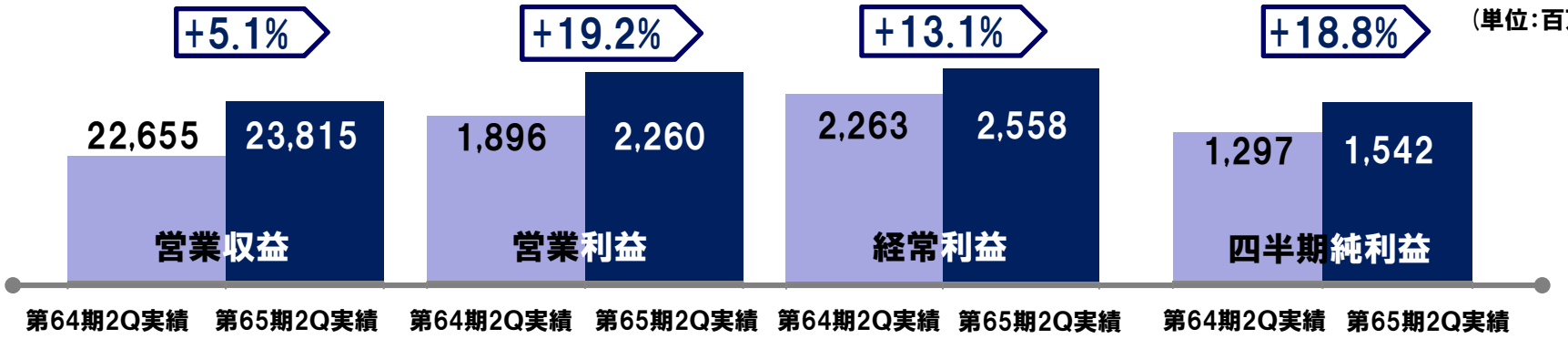
4℃ holdings group

増収増益、営業利益・経常利益・四半期純利益は過去最高益を更新

営業収益　238.2億円（前年同期比5.1％増）　営業利益　22.6億円（同19.2％増）

経常利益　25.6億円（同13.1％増）　四半期純利益　15.4億円（同18.8％増）

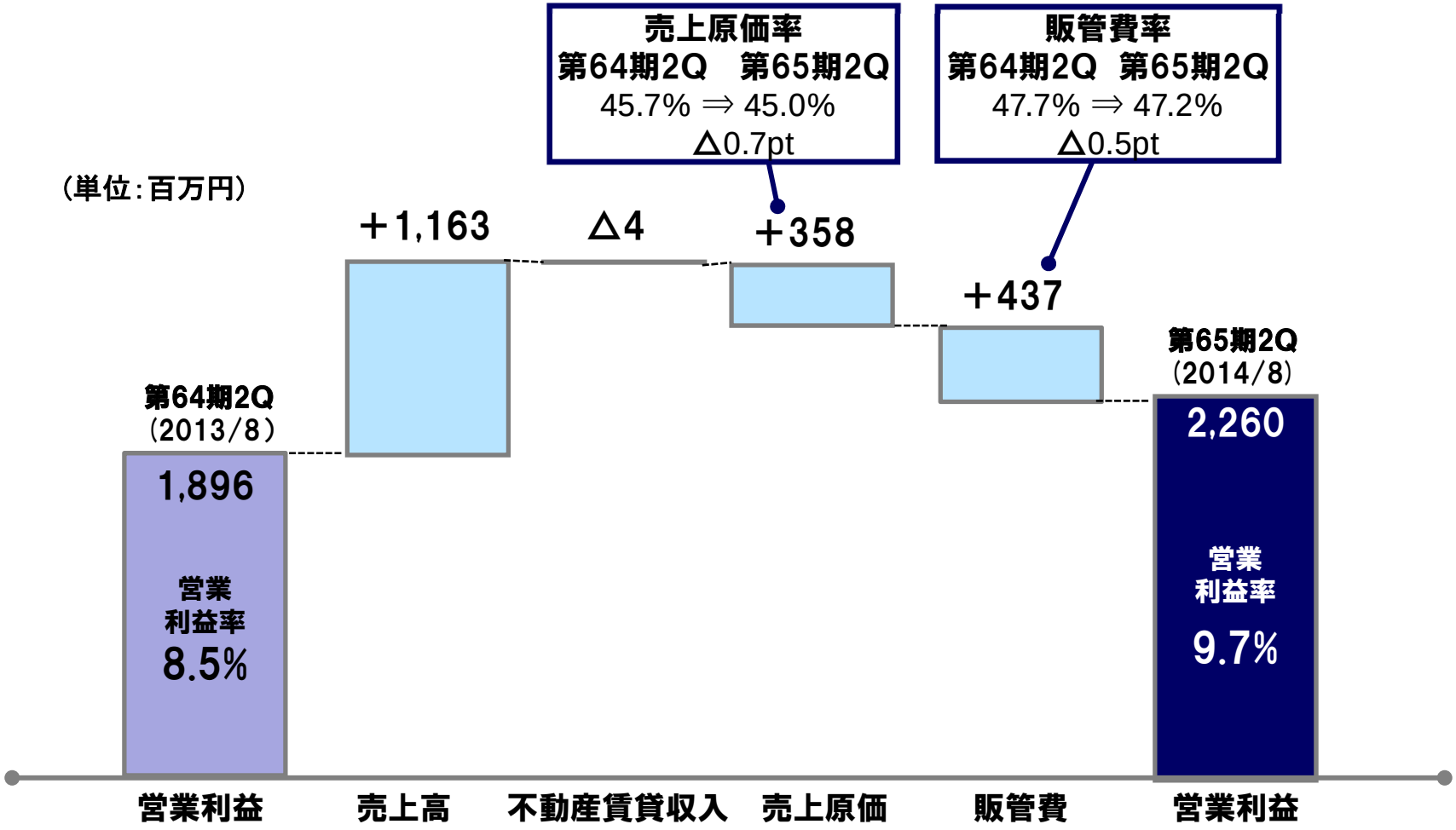
（単位：百万円）



（百万円、％）	第64期2Q（2013/8）実績	（％）	第65期2Q（2014/8）計画	（％）	第65期2Q（2014/8）実績	（％）	前年同期比増減（％）	計画比増減（％）
営業収益	22,655		23,500		23,815		+5.1	+1.3
売上高	22,224	100.0	23,078	100.0	23,387	100.0	+5.2	+1.3
売上総利益	12,061	54.3	12,892	55.9	12,866	55.0	+6.7	△0.2
売上総利益率	54.3		55.9		55.0		+0.7pt	△0.9pt
販売管理費	10,596	47.7	11,314	49.0	11,033	47.2	+4.1	△2.5
営業利益	1,896	8.5	2,000	8.7	2,260	9.7	+19.2	+13.0
経常利益	2,263	10.2	2,400	10.4	2,558	10.9	+13.1	+6.6
四半期純利益	1,297	5.8	1,400	6.1	1,542	6.6	+18.8	+10.2

営業利益の増加要因

営業利益　22.6億円　　営業利益率9.7％（1.2pt改善）



営業利益・経常利益・四半期純利益の推移

4℃ holdings group

（単位：百万円、％）

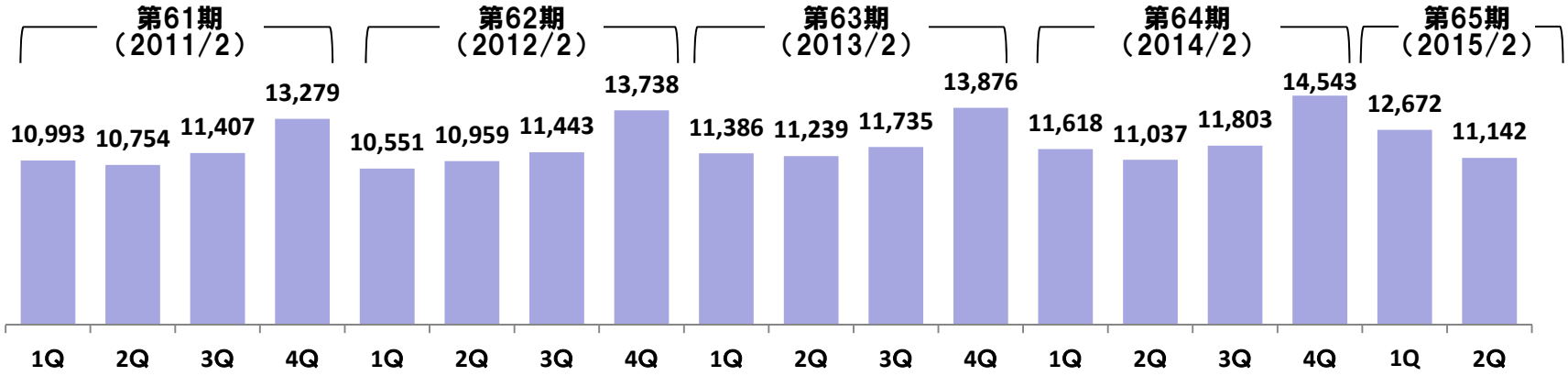
段階利益	第64期 1Q期間	第64期 2Q期間	第64期 上期累計（2013/8）	第65期 1Q期間	第65期 2Q期間	第65期 上期累計（2014/8）	前年差	前年比
営業収益	11,618	11,037	22,655	12,672	11,142	23,815	1,159	+5.1
売上総利益	6,169	5,892	12,061	6,953	5,913	12,866	805	+6.7
営業利益	1,091	805	1,896	1,560	700	2,260	363	+19.2
営業外収益	201	174	376	299	41	340	△35	△9.4
営業外費用	5	4	9	3	39	42	32	+426.7
経常利益	1,288	975	2,263	1,856	702	2,558	295	+13.1
特別利益	—	34	34	47	104	152	118	+447.2
特別損失	10	71	81	19	80	99	17	+121.3
税金等調整前四半期純利益	1,277	937	2,215	1,884	727	2,612	396	+117.9
四半期純利益	827	470	1,297	1,184	357	1,542	244	+18.8

四半期業績の推移

営業収益、営業利益とも順調に成長

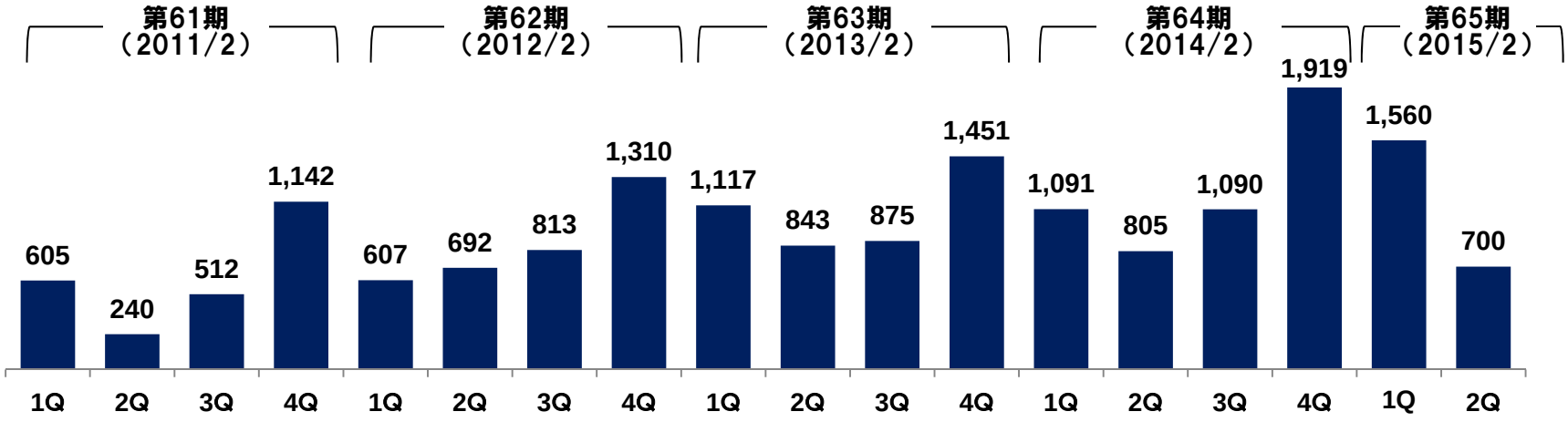
営業収益　四半期別の推移

（単位：百万円）



営業利益　四半期別の推移

（単位：百万円）

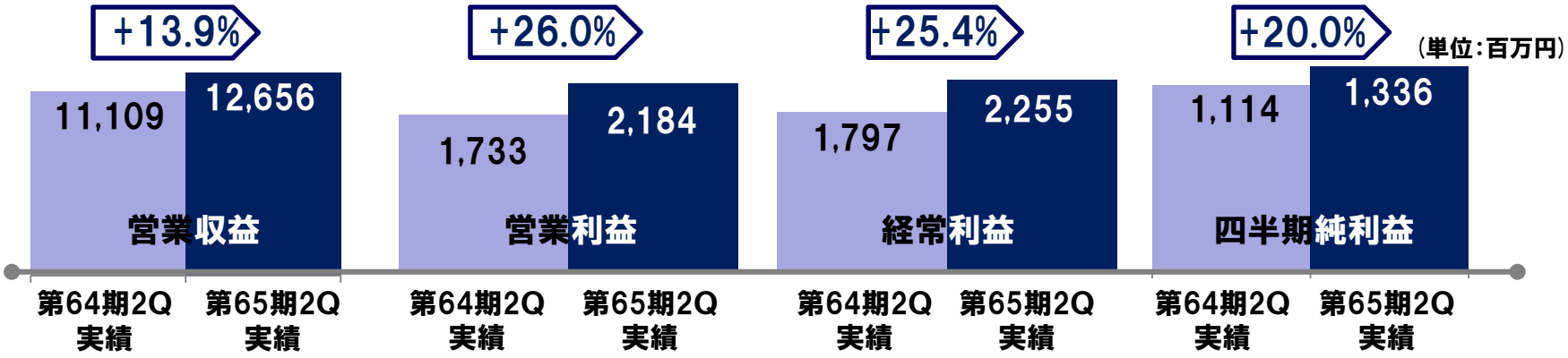


セグメント別の概要

4℃ holdings group

◆ FDCプロダクツグループ

- 売上高、利益高ともに過去最高を更新
- 3月消費税率引き上げ前の駆け込み需要は想定以上に推移
- 4月以降の反動はほぼ予測通り、特にファッションジュエリーは4月以降も前年を上回り好調に推移



	第64期2Q（2013/8）		第65期2Q（2014/8）				前年同期比	計画比
（百万円、%）	実績	（%）	計画	（%）	実績	（%）	増減(%)	増減(%)
営業収益	11,109	100.0	12,042	100.0	12,656	100.0	+13.9	+5.1
営業利益	1,733	15.6	1,833	15.2	2,184	17.3	+26.0	+19.1
経常利益	1,797	16.2	1,896	15.7	2,255	17.8	+25.4	+18.9
四半期純利益	1,114	10.0	1,093	9.1	1,336	10.6	+20.0	+22.3

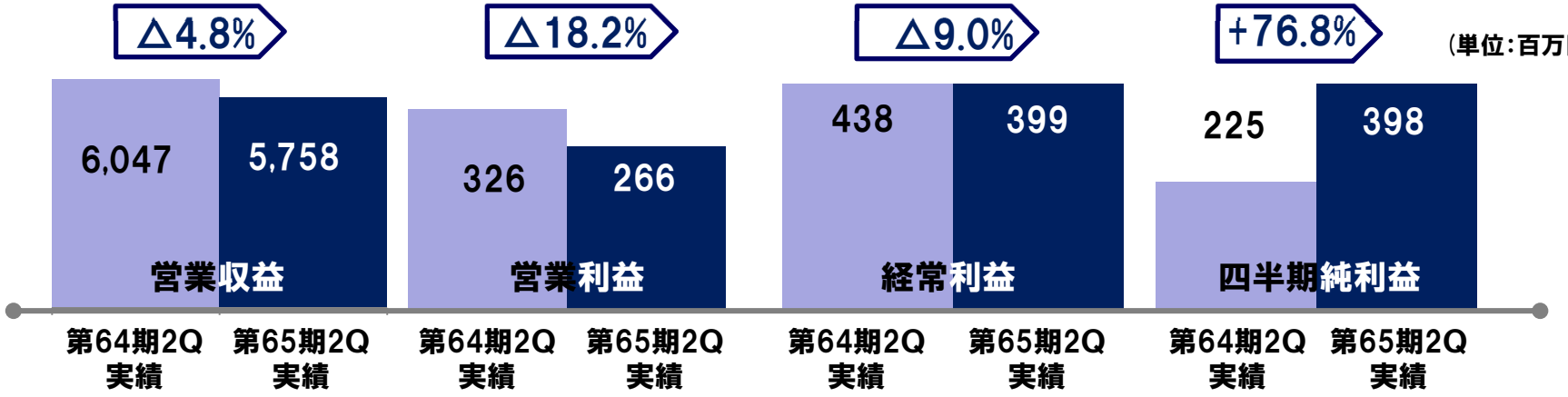
（※内部相殺前数値）

セグメント別の概要

4℃ holdings group

◆ アスティグループ

- 利益面では、ほぼ計画通りの推移
- アパレルメーカー事業は好調に推移



（百万円、％）	第64期2Q（2013/8） 実績	（％）	第65期2Q（2014/8） 計画	（％）	実績	（％）	前年同期比 増減（％）	計画比 増減（％）
営業収益	6,047	100.0	6,017	100	5,758	100.0	△4.8	△4.3
営業利益	326	5.4	284	4.7	266	4.6	△18.2	△6.4
経常利益	438	7.2	394	6.5	399	6.9	△9.0	+1.2
四半期純利益	225	3.7	331	5.5	398	6.9	+76.8	+20.4

（※内部相殺前数値）

セグメント別の概要

4℃ holdings group

◆ ㈱三鈴

- □ 不採算店舗の圧縮は計画通り実施
- □ 消費税率引き上げや天候不順の影響により既存店が苦戦し減収減益

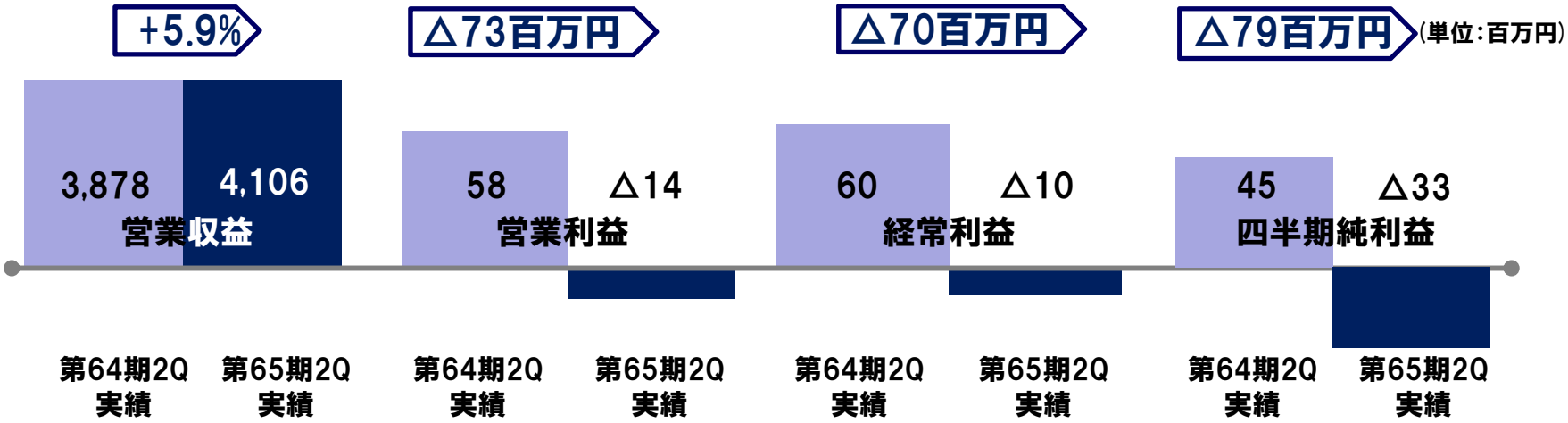
(百万円、%)	第64期2Q(2013/8) 実績	(%)	第65期2Q(2014/8) 計画	(%)	実績	(%)	前年同期比・差 増減(%)	計画比・差 増減(%)
営業収益	2,886	100.0	2,667	100.0	2,522	100.0	△13.6	△5.4
営業利益(損失)	△89	—	△14	—	△105	—	△16百万円	△90百万円
経常利益(損失)	△69	—	0	—	△86	—	△16百万円	△86百万円
四半期純利益(損失)	△93	—	△17	—	△89	—	3百万円	△72百万円

セグメント別の概要

4℃ holdings group

◆ ㈱アージュ

- □ デイリーファッション事業の既存店売上高は5年連続で前年を上回り推移
- □ 会員制小売事業が消費税率引き上げの影響で苦戦



（百万円、％）	第64期2Q（2013/8）		第65期2Q（2014/8）				前年同期比・差	計画比・差
	実績	（％）	計画	（％）	実績	（％）	増減（％）	増減（％）
営業収益	3,878	100.0	4,312	100.0	4,106	100.0	+5.9	△4.8
営業利益（損失）	58	1.5	61	1.4	△14	―	△73百万円	△75百万円
経常利益（損失）	60	1.6	62	1.5	△10	―	△70百万円	△72百万円
四半期純利益（損失）	45	1.2	28	0.7	△33	―	△79百万円	△61百万円

財政状態、キャッシュ・フローの状況（連結）

4℃ holdings group

- 総資産595億円、負債141億円、純資産454億円
- フリーCF 8億2,500万円

財務状況

2014年8月末時点

キャッシュ・フロー

（単位：百万円）	第64期2Q（2013/8）	第65期2Q（2014/8）	差額
営業CF	1,218	538	△680
投資CF	△354	287	642
財務CF	△338	△590	△252
フリーCF	863	825	△37

2015年2月期第2四半期総括

4℃ holdings group

ジュエリーは好調、アパレルは苦戦、全体では計画を上回り、
営業利益、経常利益、四半期純利益とも過去最高益を更新

1. FDCプロダクツグループ
   ⇒ 「4℃」のファッションジュエリー、「canal4℃」が好調に推移、
   新規出店も計画通りに進展し、増収・過去最高益を達成

2. アスティグループ
   ⇒ アパレルメーカー事業が好調に推移し、
   計画通り推移

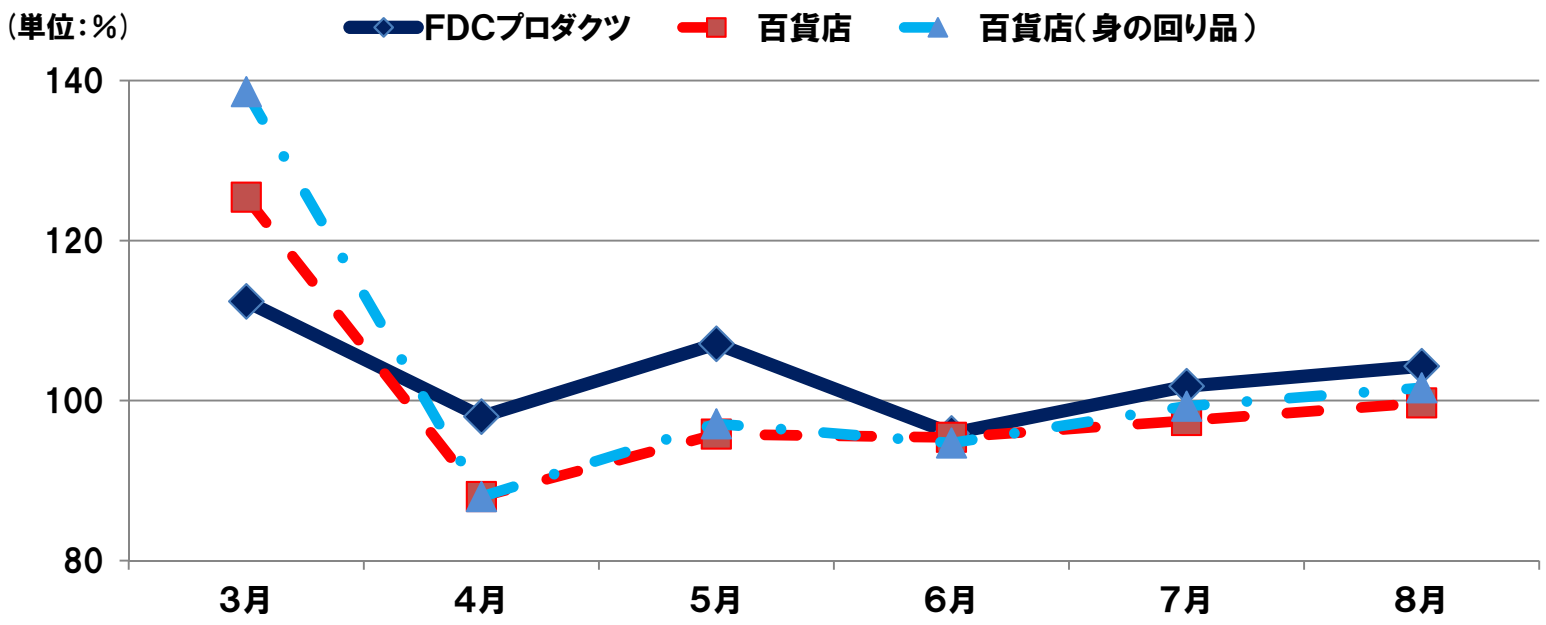
3. ㈱三鈴
   ⇒ 不採算店舗の圧縮は計画通り進展するも、
   消費税率引き上げや天候不順の影響により減収減益

4. ㈱アージュ
   ⇒ デイリーファッション事業の既存店は前年を上回るも、
   消費税引き上げの影響による会員制小売事業の苦戦により増収減益

消費税率引き上げの影響～ジュエリー事業分野

4℃ holdings group

月次推移（既存店売上高、前年同月比）



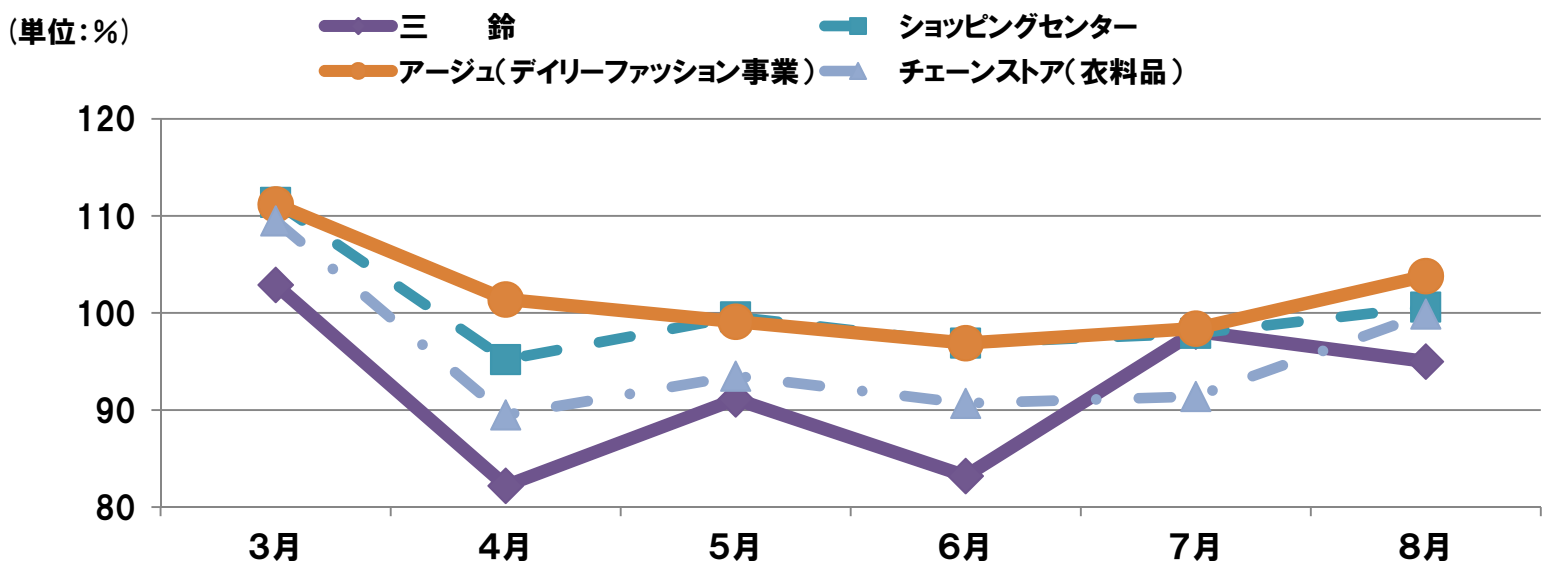
	3月	4月	5月	6月	7月	8月
FDCプロダクツ	112.4	98.0	107.1	95.9	101.8	104.3
百貨店	125.4	88.0	95.8	95.4	97.5	99.7
百貨店（身の回り品）	138.6	88.0	97.1	94.7	99.3	101.6

（数値は日本百貨店協会、日本ショッピングセンター協会および日本チェーンストア協会にて公表されているものを用いております）

消費税率引き上げの影響～アパレル事業分野

4℃ holdings group

月次推移（既存店売上高、前年同月比）



	3月	4月	5月	6月	7月	8月
三　　鈴	102.9	82.2	91.1	83.2	98.1	95.0
アージュ（デイリーファッション事業）	111.2	101.4	99.1	96.9	98.4	103.8
ショッピングセンター	111.4	95.2	99.6	96.9	97.9	100.6
チェーンストア（衣料品）	109.5	89.5	93.5	90.7	91.4	99.9

（数値は日本百貨店協会、日本ショッピングセンター協会および日本チェーンストア協会にて公表されているものを用いております）

2015年2月期重点施策～6本柱の計画と進捗

4℃ holdings group

成長エンジン6本柱の計画と上期の達成率

	2015年2月期計画				2015年2月期第2四半期実績			
（単位：百万円）	売上高	前期比（%）	経常利益	前期比・差（%）	売上高	前期比（%）	経常利益	前期比・差（%）
4℃ジュエリー合計	22,030	+4.8	4,351	+6.5	9,533	+5.0	1,682	+0.8
[4℃ジュエリー]	14,600	+0.7	2,759	+4.3	6,454	+5.6	1,192	+10.9
[4℃BRIDAL]	7,430	+14.0	1,592	+10.5	3,079	+3.7	490	△17.4
canal4℃	3,029	+5.0	420	+5.7	1,411	+19.9	203	+53.7
アパレルメーカー事業	4,945	+1.5	234	+33.8	2,649	△1.2	148	+30.5
アパレルSPA事業	5,506	△6.8	100	129百万円	2,522	△12.6	△86	△16百万円
デイリーファッション事業	7,235	+15.2	123	+4.4	3,396	+11.1	14	△77.9
合計	42,744	+4.4	5,229	+10.2	19,514	+3.3	1,961	+2.8

出退店の状況と計画

4℃ holdings group

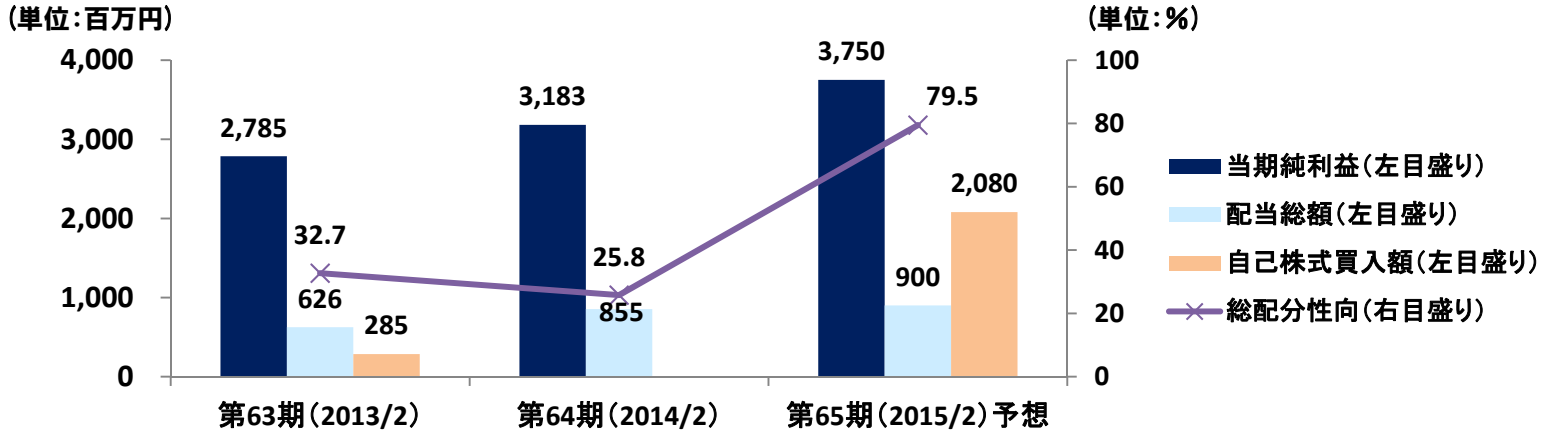
計画通りの出店を実施。4℃BRIDALは下期2店舗で年間6店舗、canal4℃は下期4店舗で年間6店舗の出店を予定。新規でLuria4℃を年内5店舗出店計画

		FDCプロダクツグループ								㈱三鈴	㈱アージュ	合計※
		国内ジュエリー					海外ジュエリー	Luria 4℃	4℃ バッグ			
		4℃	4℃ BRIDAL	canal 4℃	その他	計						
第64期（2014/2）	2Q期末	89	30	30	20	169	4	0	28	89	78	357
	期末	88	31	30	21	170	5	0	28	88	79	359
第65期上期実績（2014/8）	出店	1	4	2	2	9	2	1	1	1	5	17
	退店	2	0	0	2	4	1	0	1	11	5	22
	2Q期末	87	35	32	21	175	6	1	28	78	79	354
第65期下期計画（2015/2）	出店	2	2	4	2	10	0	4	1	0	4	18
	退店	1	0	1	0	2	0	0	0	0	2	4
	期末	88	37	35	23	183	6	5	29	78	83	366

その他：EAUDOUCE4℃、RUGIADA、MAISON JEWELL、deux et deux他
※アージュにおける販売代行店舗調整後数値。

株主還元方針

- 安定的・継続的な配当を基本とし総配分性向25％を目処に計画
  ⇒ 2015年2月期は32円に増配予定
- 機動的な自己株式の取得
  ⇒ 2014年9月に1,040,100株の自己株式の買入を実施



	第63期（2013/2）	第64期（2014/2）	第65期（2015/2）予想
1株当たり年間配当金（円）	22	30	32
自己株式買入額（百万円）	285	―	2,080
総配分性向（％）	32.7	25.8	79.5
1株当たり当期純利益（円）	101.64	116.40	137.21

Ⅰ．　2015年2月期第２四半期決算概要と総括

Ⅱ．　2015年2月期下期重点取り組み課題と施策

Ⅲ．　第3次中期経営計画の進捗

2015年2月期通期連結業績予想

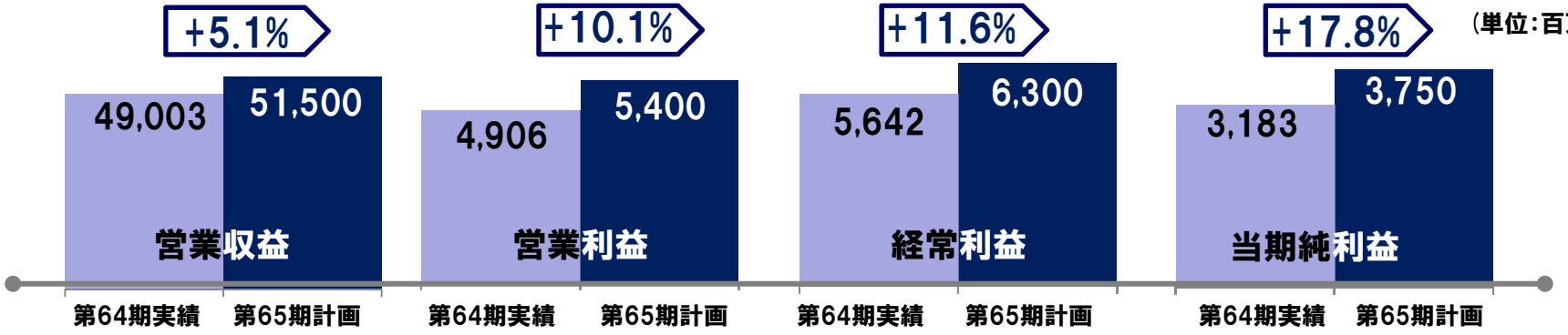
4℃ holdings group

増収増益、営業利益、経常利益、当期純利益とも過去最高益更新の計画

営業収益515億円（前期比5.1%増）　営業利益54億円（前期比10.1%増）

経常利益 63億円（前期比11.6%増）　当期純利益37.5億円（前期比17.8%増）

（単位：百万円）



（百万円、%）	第64期（2014/2）実績	（%）	第65期（2015/2）期初計画	（%）	修正計画	計画差	前期比増減（%）
営業収益	49,003		51,500		51,500	—	+5.1
売上高	48,140	100.0	50,650	100.0	50,650	—	+5.2
売上総利益	26,878	55.8	28,750	56.8	28,750	—	+6.9
売上総利益率	55.8		56.8		56.8		+1.0pt
販売管理費	22,835	47.4	24,200	47.8	24,200	—	+6.0
営業利益	4,906	10.2	5,400	10.7	5,400	—	+10.1
経常利益	5,642	11.7	6,300	12.4	6,300	—	+11.6
当期純利益	3,183	6.6	3,750	7.4	3,750	—	+17.8

事業会社グループ別通期業績予想（内部相殺前数値）

4℃ holdings group

（百万円、％）		第64期（2014/2）	第65期（2015/2）		
		実績	上期実績	通期予想	前期比・差
FDCプロダクツグループ	営業収益	26,188	12,656	28,728	+9.7
	営業利益	4,406	2,184	4,933	+12.0
	経常利益	4,533	2,255	5,065	+11.7
	当期純利益	2,728	1,336	2,959	+8.5
アスティグループ	営業収益	11,627	5,758	11,498	△1.1
	営業利益	558	266	514	△8.0
	経常利益	778	399	750	△3.7
	当期純利益	452	398	610	+35.0
㈱三鈴	営業収益	5,905	2,522	5,336	△9.6
	営業利益（損失）	△69	△105	△5	63百万円
	経常利益	△29	△86	29	59百万円
	当期純利益（損失）	△136	△89	△16	119百万円
㈱アージュ	営業収益	7,977	4,106	8,574	+7.5
	営業利益	160	△14	94	△40.9
	経常利益	163	△10	100	△39.0
	当期純利益	84	△33	31	△62.3

（営業収益には不動産賃貸収入・経営指導料含む。）

2015年2月期下期重点施策～FDCプロダクツグループ

4℃ holdings group

- 「4℃BRIDAL」「canal4℃」の出店拡大を継続
- 新ブランドLuria4℃の出店（年間5店舗）

2015年2月期下期重点施策～FDCプロダクツグループ

4℃ holdings group

- クリスマス商戦に向けたエターナルシルバーの強化
- ピュアプラチナのファッションジュエリー投入による消費の二極化対応
- 11月よりウォッチを本格展開（100型）、新規マーケットの獲得

2015年2月期下期重点施策～FDCプロダクツグループ

4℃ holdings group

- クリスマス商戦に向けたテレビCMの実施
- ECサイトのリニューアル

2015年2月期下期重点施策～FDCプロダクツグループ

4℃ holdings group

ロ 既存店舗の活性化対策として4℃、4℃ブライダル、4℃プレジェンス、Luria4℃の複合店舗オープン

2015年2月期下期重点施策～アパレル事業

4℃ holdings group

≪アスティ:アパレルメーカー事業≫

- チャイナプラスアザーズとしてバングラデシュでの生産を拡大、利益率の向上を目指す

≪三鈴:アパレルSPA事業≫

- 年間黒字化を目指す

≪アージュ:リテール事業≫

- 主力のデイリーファッション事業を拡大

Ⅰ．　2015年2月期第２四半期決算概要と総括

Ⅱ．　2015年2月期下期重点取り組み課題と施策

Ⅲ．　第3次中期経営計画の進捗

第3次中期経営計画の進捗状況①

4℃ holdings group

成長分野への積極投資、組織力強化とも着実に実施

	目標		3年目上期の進捗
重点戦略 ～成長分野への積極投資	出店開発 3年間で国内100店舗	⇨	予定通りの出店を実施
	4℃ブランド価値向上 3年間で広告販促費約10億円上積みし、総額約40億円投資	⇨	TVCMの制作を決定
	M&A 自己資金の充実で100～200億円レベルの案件への投資検討	⇨	引き続き検討
～組織力強化	取締役管掌制度の導入 人材育成の強化	⇨	海外生産背景の見直し、人材育成で連携が進む

第3次中期経営計画の進捗状況②

4℃ holdings group

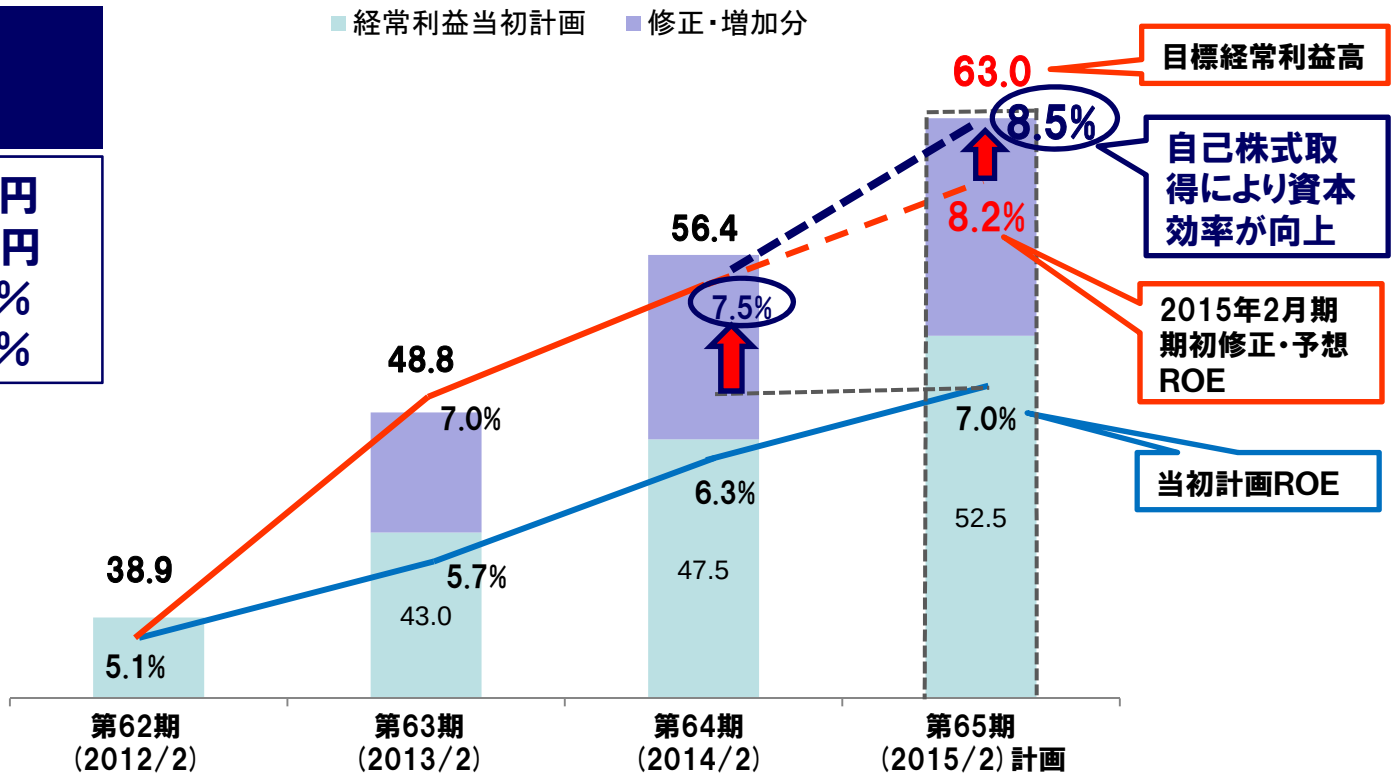
大規模な自己株式取得により資本効率が向上、
ROEの予測値は8.2%⇒8.5%へ

数値ビジョン
（2015年2月期）

連結売上高	515億円
経常利益高	63億円
経常利益率	12,2%
ROE	8.2%

中期業績目標の達成イメージ～経常利益とROE

（億円）

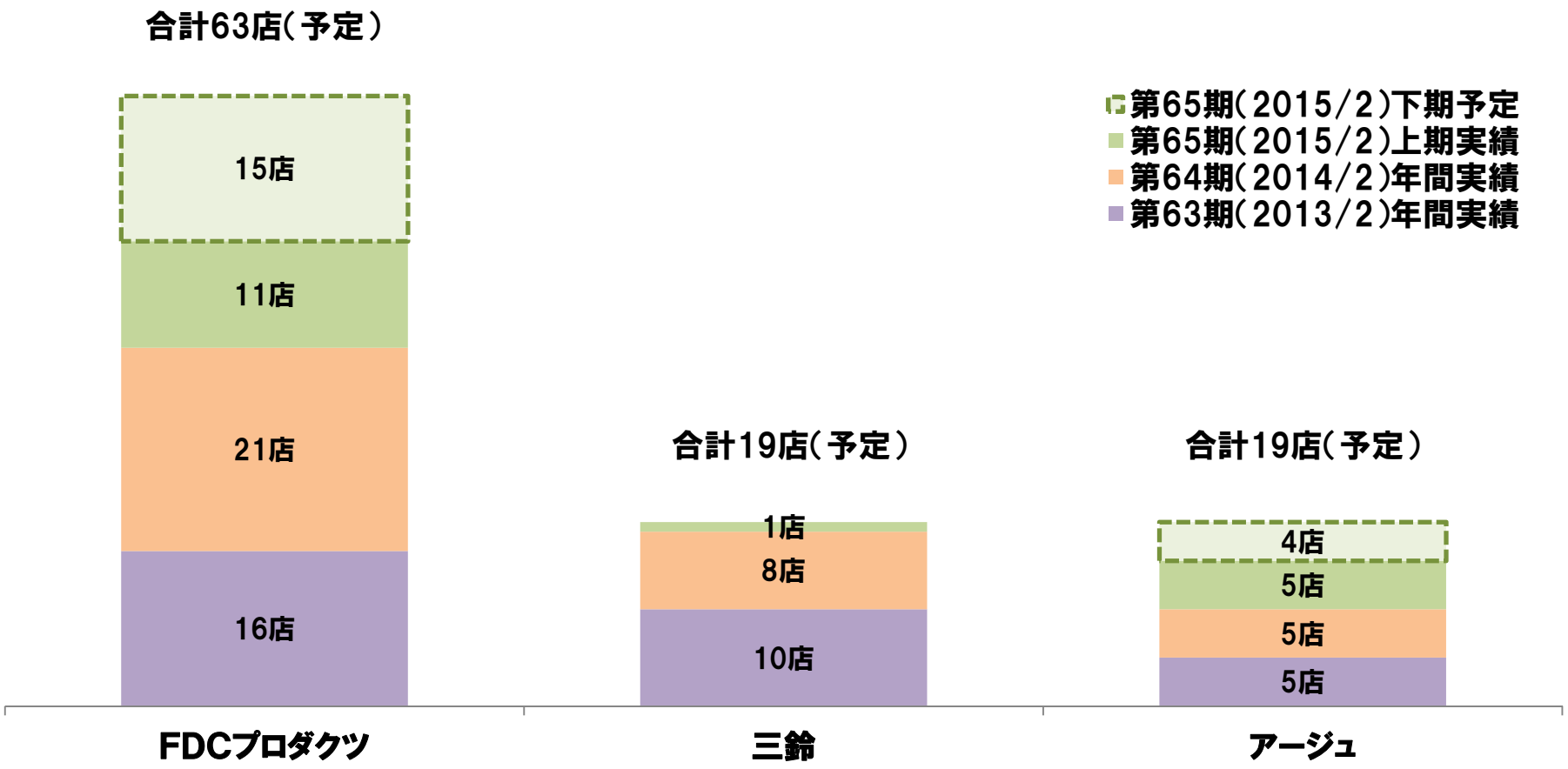


重点戦略　成長分野への積極投資

4℃ holdings group

- ３年間で国内100店舗出店目標⇒計画通り100店舗出店達成予定
- 4℃ブランド価値向上のための広告投資⇒クリスマスに向けテレビCMを実施

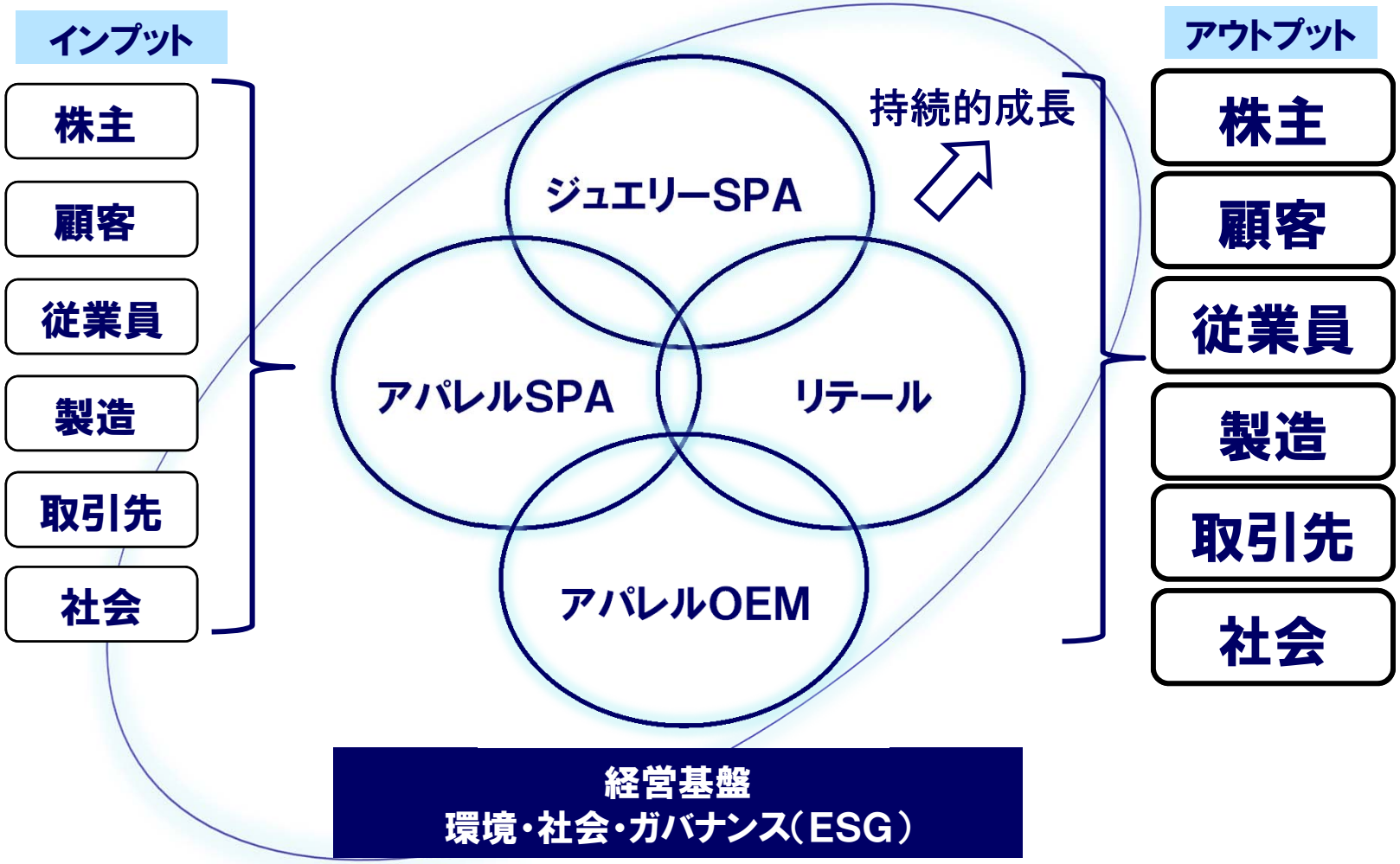
３年間の国内店舗　新規出店数



安定的・継続的成長に向けて～持続的価値の創出

4℃ holdings group

ジュエリーSPA、アパレルOEM、アパレルSPA、リテールの4つの事業で価値拡大を目指す

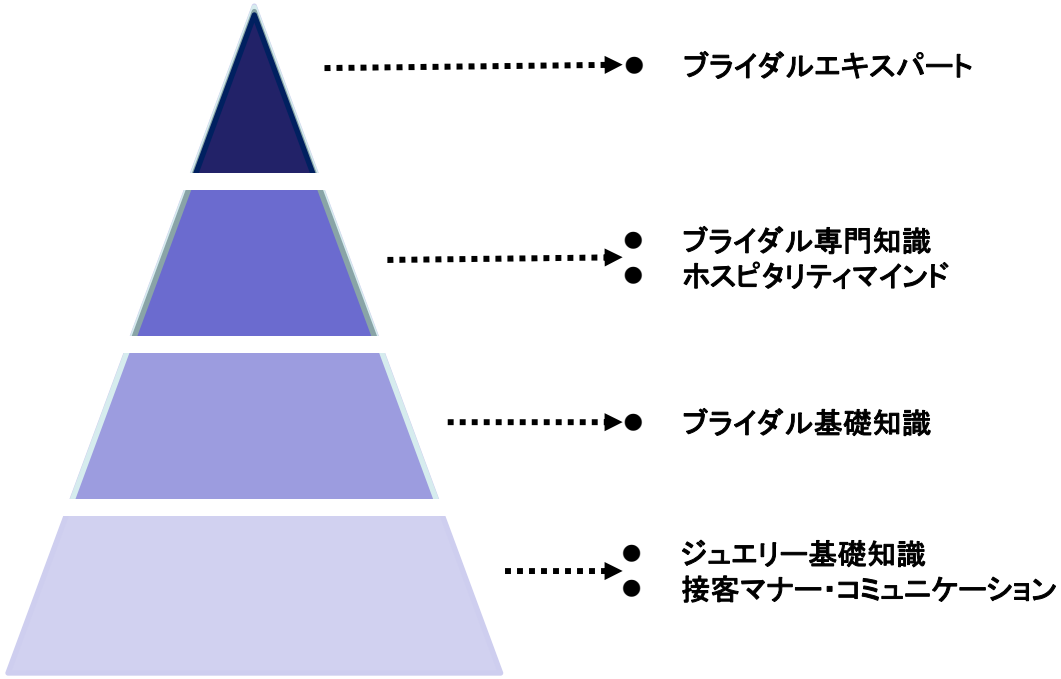


ESGの課題への取り組み～人材育成

4℃ holdings group

- 接客のプロを育成する独自のカルキュラムを体系化
- 教育専門の研修施設を設置。ロールプレイング形式で知識とスキルをより深く習得できるシステムを構築

基礎から応用まで体系化されたカリキュラム



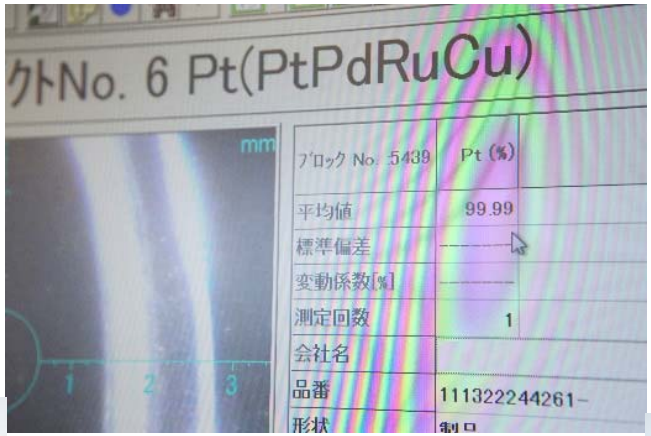
サービス オブ　ザ　イヤー 2014
4℃名古屋パルコ店がCS大賞受賞

模擬店スペースのある販売研修施設"F.D.C. FRIENDS COLLEGE"

ESGの課題への取り組み～品質管理

4℃ holdings group

- 相模原ジュエリーセンターにおいて厳格な検査・検品体制を確立
- お客様の信頼向上



ダイヤモンドテスターによる
ダイヤモンドの品質検査

X線検査機による地金の純度、
ダイヤモンドの品質検査

詳細な検品基準マニュアルに
基づく検査員による全品検品

第4次中期経営計画の前提、方向性

4℃ holdings group

- 現在、2015年3月1日よりスタートする新しい3カ年中期経営計画「第4次中期経営計画」を策定中

- 第3次中期経営計画の数値ビジョンは、利益面では当初予想を前倒しで上回り、順調に進展

- 第4次中期経営計画は新たな成長戦略のもと、「100年企業、100年ブランドを目指す」を合言葉に果敢な目標を掲げ、さらなる成長を目指す

- ESG（環境、社会、ガバナンス）の課題に対応し、経営を担う人材の育成、女性社員が活躍できる仕組みづくり、品質管理の徹底・強化を引き続き推進

本日は誠にありがとうございました

本資料ならびにIRに関するお問合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社4℃ホールディングス

業務部　禾本（ノギモト）・小塚（コヅカ）

TEL　03-5719-3429
FAX　03-5719-4462
E-mail ir-yondoshi@yondoshi.co.jp

※将来に亘る部分につきましては、予想に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。
予想と異なる結果となる可能性があることをご認識の上ご活用下さい。